

議会だより

# かつら

No.

8

1999. 8.15

いきいきとした 町づくりを めざして



ヤットサー ヤットサー 夏 夏 夏だ！

- 14人の新議員決まる……………P 2～3
- 新しい議会構成・新議員に期待する……………P 4～5
- 6月議会で決まったこと……………P 6
- 臨時議会・議会傍聴のご案内……………P 7
- 委員会の活動報告……………P 8
- 6月議会一般質問……………P 9～11
- おじゃまします・議会のうごき……………P 12

# 心新たに 未来を創造

## 十四人の新議員決まる!!

六月二十七日に実施された勝浦町議会議員選挙において、十四人の新議員が誕生しました。今回の選挙は、十六人の定数が二人削減され、十四人になって初めての選挙になりました。新しい議員とその抱負を議席順に紹介いたします。

(年齢・出身地区・当選回数・抱負)



川端雅夫

(52歳・今山・1回)

地方分権、行財政改革、介護保険等の問題が山積している中、21世紀に向けて、新しい町づくりのためがんばります。



中田丑五郎

(52歳・久国・1回)

議会の活性化と町政発展のため、多様化する課題に素早い対応と行動力、公正な立場で一生懸命取り組みます。



溝田義昭

(57歳・横瀬・2回)

主役である住民が21世紀に向けて真に町政に求めるものは何かを見極め、その声を反映した町づくりに努力したい。



国清栄

(54歳・星谷・2回)

先行き不透明な時代こそ論議と協調が必要です。町民の問題意識を率直に受けとめ、町づくりに生かしていきたい。



森敏治

(61歳・坂本・2回)

21世紀に向け、夢と希望、そして活力のある町づくり。赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる環境づくり。



福德重二

(60歳・山西・2回)

1期4年間議員活動に一生懸命取り組んで参りました。今後も初心に返り、町活性化のためがんばりたいと思います。



### 宮本 久治

(64歳・生名・3回)

21世紀に向けて、町民の意見を十分聞き、町財政の問題点を把握し、町発展に努めていきたいと考えています。



### 神原 忍

(63歳・中山・3回)

子どもからお年寄りまで、皆が安心して暮らせる町づくりを目指します。農林業、商工業の振興、住民福祉の向上。



### 森 健

(63歳・石原・2回)

町の将来を展望する中で、産業・教育・福祉の各分野にバランスのよい発展振興を働きかけたい。



### 井出 幸夫

(45歳・今山・6回)

町民が主人公という立場で将来を展望した町づくりのためにがんばっていききたいと思います。



### 押栗 義雄

(64歳・与川内・5回)

町の活性化策は、町民所得の向上施策が重要であり、町の素敵な環境素材を生かした町づくりを目指したい。



### 原田 昭三

(70歳・中角・4回)

農業の活性化と新規就農者支援事業、福祉重点に町民が主人公の立場でがんばりたい。



### 中西 晴美

(76歳・中山・9回)

勝浦町の窮迫した財政再建とみかん産業の振興、町民所得の向上を図り、介護保険制度の導入に適切に対応したい。



### 西浜 勝己

(63歳・棚野・8回)

地方分権の時代に対応できる町づくりに全力をささげ、そのためまず今日一日に最善をつくします。



# 義会構成

七月十二日に開かれた改選後初の臨時議会において、議長、副議長等の選出並びに各常任委員会、特別委員会等の構成が行われました。  
任期は、各常任委員と議会運営委員が一年、議会広報調査特別委員が二年、その他の特別委員は四年となっています。

議長

神原 忍

副議長

森 敏治

## 総務常任委員会

企画・財政・税務・教育などを調査、審査

委員長 国清 栄

副委員長 中田丑五郎

委員 森 敏治

井出幸夫

## 厚生常任委員会

社会福祉・環境衛生・病院関係などを調査、審査

委員長 原田昭三

副委員長 川端雅夫

委員 福德重二

神原 忍 中西晴美

## 産業建設常任委員会

産業振興、県道・町道の整備などを調査、審査

委員長 森 健

副委員長 溝田義昭

委員 宮本久治

押栗義雄 西浜勝己

## 新議員に期待する！

### 激動の新世紀に向かって



勝浦町長 川口 幸一

議員各位には、ご当選心からお喜び申し上げます。

今回の選挙は、議員提案による二名の定数削減が議決され、行政改革の範を示された初めての選挙と町民からも注目されておりました。そのなかにおいて、広く町民の信望を集められたことに深く敬意を表するものであります。

このたび国会において成立した地方分権推進整備法は、自治体の自己決定、自己責任が強く求められております。町においても厳しい行政財政を見直すため「行政改革答申」をいただき、現在「行政改革大綱」の見直しを進めております。

議員皆様の豊富な経験と統率力、新しい発想を行政に生かしていただき、新世紀に向かって個性と活力のある町づくりにご指導、ご協力をお願い申し上げます。

### 新議員に望む



勝浦町婦人会々長 中田 ヤスエ

ご当選おめでとうございます。

二十一世紀に輝く町づくりのために、自信と誇りと責任、そして、新しいアイデアをもつて、がんばって下さい。

私たち婦人会も「自主団体」と言われておりますが、勝浦町にはなくてはならない存在と自負しております。

変わらぬご指導ご支援の程よろしくお願いし、共によりよい町づくりに精進したいと思います。

# 新しい議会

## 議会運営委員会

- 委員長 押栗義雄 副委員長 井出幸夫  
 委員 中田丑五郎 森 敏治 森 健  
 西浜勝己

## 議会広報調査特別委員会

Ⅱ議会だよりの編集

- 委員長 溝田義昭 副委員長 井出幸夫  
 委員 川端雅夫 国清 栄 森 健

## 東部広域農道整備促進特別委員会

- 委員長 中西晴美 副委員長 押栗義雄  
 委員 溝田義昭 森 敏治 神原 忍  
 西浜勝己

## 勝浦川整備促進特別委員会

- 委員長 井出幸夫 副委員長 福德重二  
 委員 国清 栄 森 健 宮本久治  
 原田昭三 中西晴美

## 小松島市外三町村衛生組合議員

- 神原 忍 押栗義雄 西浜勝己

## 未来に向かって



勝浦町ニューグリーンクラブ会長  
高田 敏幸

勝浦の未来を託す議員として選ばれた皆様は、心からお喜び申し上げます。  
 私たちのクラブも会員が固定化し、活動もマンネリ化を余儀なくされています。発想の転換を図りながらの活動をとっています。なかなか思うようには行きません。  
 最近の農業を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、未来に向かって、少しでも明るい兆しを見つけ、また、希望を与えられる議員としてがんばっていただけたら幸いです。

## 就任に

## あたって



議長 神原 忍



副議長 森 敏治

七月の臨時議会で、議員各位のご推挙により議長、副議長の重責を担うことになり、身に余る光栄と同時に、責務の重大さを痛感する次第であります。  
 微力ではありますが、議会の円滑な運営と町政発展に努めて参ります。  
 二十一世紀を目前にして、地方分権や高齢化社会への対応の問題、また、財政的にも厳しい状況ではありますが、町民の声を町政に反映させるために、議会としても努力して参ります。皆様のお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。



勝浦中学校に設置された障害者用手すり

# こんなことが決まりました

## 6月 定例議会

六月三日開会し、一般会計補正予算など七議案について審議し、全会一致で可決しました。この外、土地開発公社の経営状況など三件の報告がありました。  
一般質問には五議員が登壇しました。  
また、早川進前助役の後任として倉橋孝明氏の選任に同意しました。

## 一般会計補正予算の主な内容

総額 **8,926万2千円**

減債基金積立金	5,000万円
徳島県単独地域農業振興事業	2,611万9千円
小学校へのコンピューター17台設置	836万1千円
中学校の障害者用手すりなどの設置	74万5千円
その他	103万7千円



倉橋孝明助役

五十六歳 生名

### 土地開発公社

地方公共団体が、必要な土地の取得及び造成管理を行うため、議会の議決を経て知事等の認可を受け設立することができる。運営については民間のように利益をあげることが目的としない。

理事長は町長で、理事十人のうち議会からは福徳重二、森敏治、宮本久治、原田昭三、中西晴美の五議員が選出されている。

# 七月臨時議会

七月十二日、十三日の臨時議会では、農業委員会委員の推薦、及び五議案の審議を行い可決しました。

また、議会選出の監査委員の選任に同意しました。



**国清 栄**  
監査委員  
(議会選出)

## 農業委員会委員

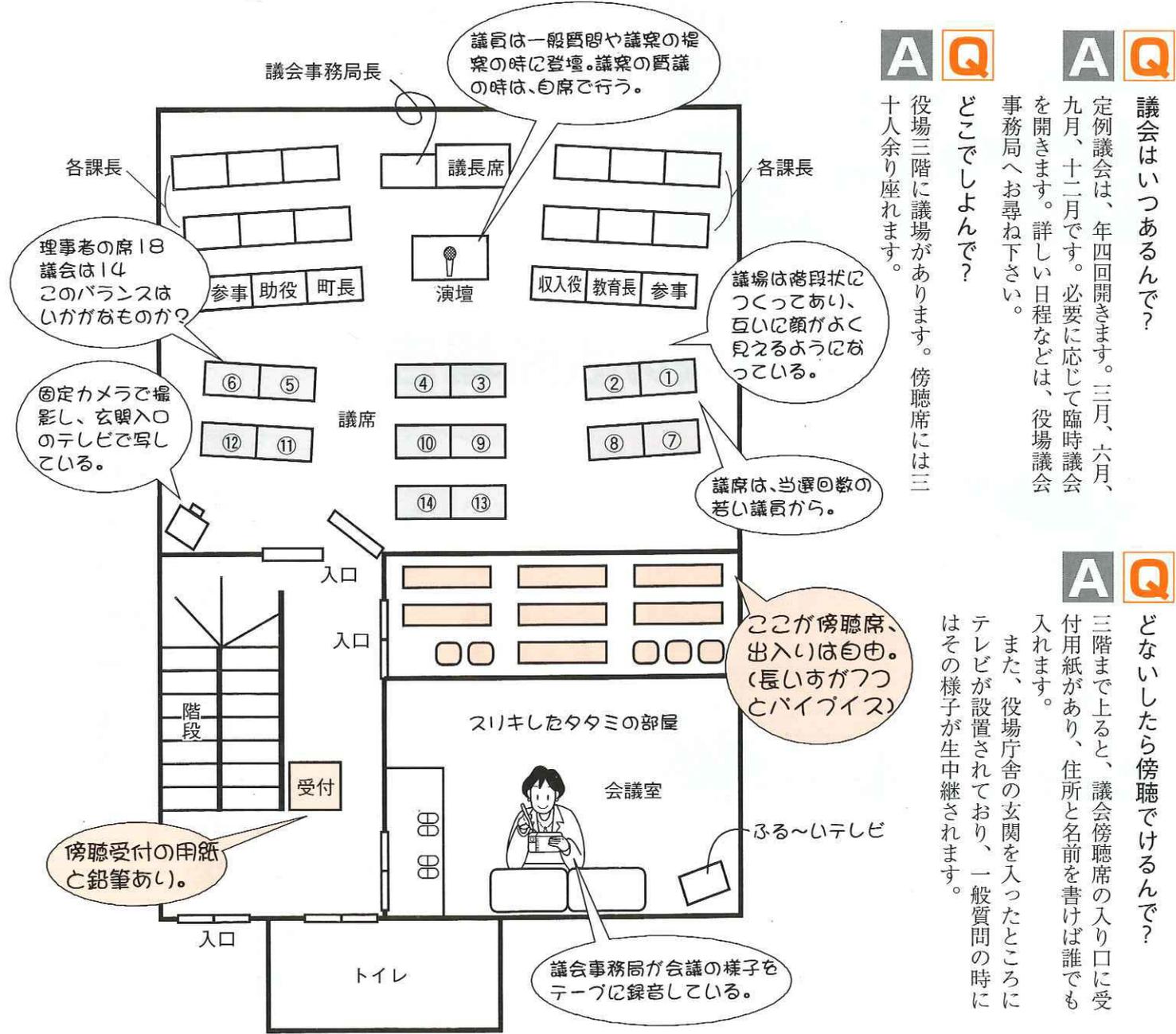
四人を議会推薦の農業委員として選任しました。

- 中村喜代治(沼江字神谷)
- 青悦 豊(沼江字大屋敷)
- 松本博志(沼江字夫婦松)
- 谷脇隆雄(沼江字黒岩)

## 主な議案

▼介護認定審査会の共同設置  
介護保険制度の実施に伴う認定審査会を、勝浦町、上勝町、佐那河内村で九月から共同設置する。

# チョット 議会を見に行けへんで!



## 西岡地区での宅地造成は断念を (住宅マスタープラン)

五月二十一日、委員会を開催。国民健康保険関係、住宅マスタープラン調査結果、玉の木町営住宅明け渡し訴訟問題などについて説明と報告があり、審議しました。

### ■主な審議内容

#### 住宅マスタープラン 西岡地区の調査結果として

「分譲面積六千六百二十九㎡(二千五坪)が確保できる。造成工事費等で約二億九千四百万円、用地費、周辺整備を含めると四億円以上になる見込み」と理事者から説明。

#### 委員から

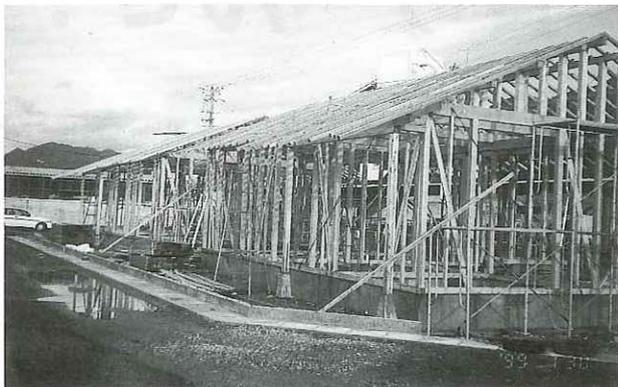
「三・三㎡(一坪)当り二十万円になり、住民希望価格の七万円〜十万円の倍以上になる。委員会としては断念せよといわざるを得ない」との結論に至りました。

#### 国保税関係

**問** 介護保険導入に伴い滞納者が増える恐れがあるが、滞納者に対する考えは。

滞納者に対する考えは。

**答** 納税指導を強化するとともに、悪質なものは強制執行等も考えている。



ようやく残り2戸の建築開始(玉の木住宅)

#### 玉の木町営住宅 明け渡し裁判 町側勝訴との報告

**問** 金銭的にはどんな結果になるのか。

**答** 滞納家賃、訴訟費用などの請求をする。弁護士費用として五十万円支払っている。

#### 委員から

「金銭的にはどうであれ、裁判ですじを通したことは、それなりの意義はあった」との発言がありました。

## 委員会の活動報告

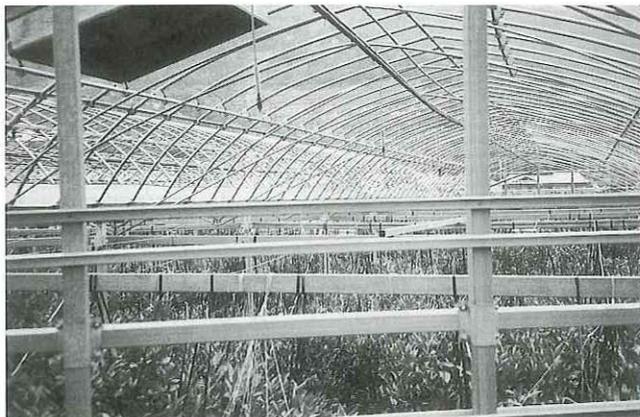
### 産業建設

#### 県単地域農業振興事業に 二千六百十一万九千円を追加

五月十二日に委員会を開き、六月議案に提出される議案の審議を行いました。

#### ハウス施設等を推進

県単地域農業振興事業として、貯蔵施設、みかんハウス施設などに二千六百十一万九千円を追加するとの説明がありました。



みかんハウス施設

六月五日に開催された関東阿波かつうら会総会に、委員会から国清委員長が出席しました。

#### 勝浦町肉牛 特別導入事業 基金条例廃止

基金現在高五百二十二万三千二百十三円、利用者がないので町と国へ返還することに同意しました。

## 町の深刻な財政事情と 再建対策の具体化について

中西晴美 議員



### 専門学校が 財政悪化の要因では

**問** 十年前から財政が悪化しつつある中で、医療福祉専門学校設立の構想はよかったが、資金計画ができていなかった。

結果的には財政悪化の大きな要因と思うが。

**答** 川口町長 専門学校については五億円の一一般財源を投入しているが、町には百五十〜二百人の若者が行き交い活力がある。商店街も消費拡大につながっていると思う。

### 立川地区との 覚書が重荷ではないか

**問** 焼却場建設に伴う立川地区との約束は、建設事業費七億七千万円位に見合う額を年間一億円以上立川地区の

道路改良に投資すると言うことであったはずだ。それがすでに十億円余りになっており、期限のない覚書をしているのはおかしい。これも財政破たんのもとになっているのではないか。

**答** 川口町長 立川地区の要望に対しては、ある程度しかたなかったのではないか。今後に向けては、財政事情を地域住民にも理解していただき、話し合いの方向で検討も必要と思う。



立川地区の道路改良

### 過大な過疎債投入が 他に影響したのでは

**問** 畜産団地について、当初は堆肥製造施設の計画であったが、牛、豚飼育施

設も追加したため結果的に十億円余りになった。一般財源は投入していないが、約六億二千万円の過疎債を充当したため産業振興などに影響を及ぼしたのではないか。

昭和三十年に町は財政再建団体に転落し、十年間何もできなかった。昭和四十二年、再建団体から立ち直り中学校、各小学校、道路改良など大型投資の続いた苦しい歴史を振り返ることなく、財政事情を考えず投資をしたことが原因ではないか。

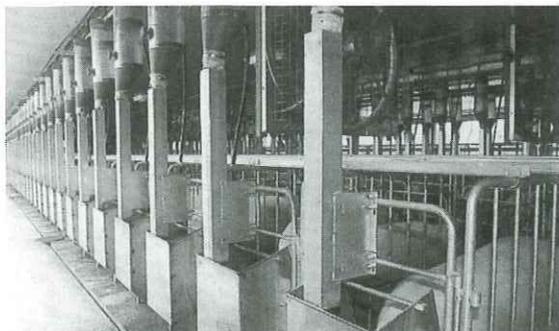
**答** 滝花企画財政課長 大きな事業が続いたことは、財政悪化の要因であると思う。財政健全化の具体策としては、繰り上げ償還を可能な限り行うとともに、地方債の借り入れ限度額設定が必要と考える。

**答** 川口町長 過去にかなり思い切った事業をしてきている。

夢と希望のある行政は大事であるが、福祉・教育等すべてのものが財政の厳しい時代を迎えている。また、日本の高度成長、バブル経済が破たんし、ここまで長く不況のトンネルが続くとは予想できなかったこともある。

厳しい財政状況であるが、町民と苦勞を分かち合うとい

う気持ちでご理解をいただきたい。今後も先頭に立ち、財政健全化が最重点課題であることを肝に銘じてがんばりたい。



▲ 豚舎内部



畜産団地

牛舎内部 ▲

坂小跡地利用への提言

### 地域にもメリツトのある

### 「清浄野菜工場」を

森 健 議員



る。

各教室に、野菜育成パネルや養液供給システム、採光空調設備をし野菜工場に変身させる。作目は「薬餌」として価値があり、周年出荷できるものとする。体育館は、調整出荷や資材置き場として活用する。

運営は企業とし、町役場をはじめ、事業所の新人研修の場とし、企業精神や現場感覚を養うなど研修にも活用する。

また、この提案は地域の協力や周辺農家に補完的な事業

に取り組んでもらえると思う。この提案を選択肢の一つにするにはなにを必要とし、どんな感想を持つか。

**答** 滝花企画財政課長 現在、行政としては、農村体験学習施設として活用する研究が進みつつある。

収益事業とすると補助金返還問題が起きてくるため、体験学習の一部門として取り組めるかどうか、一提言としてうけとめたい。

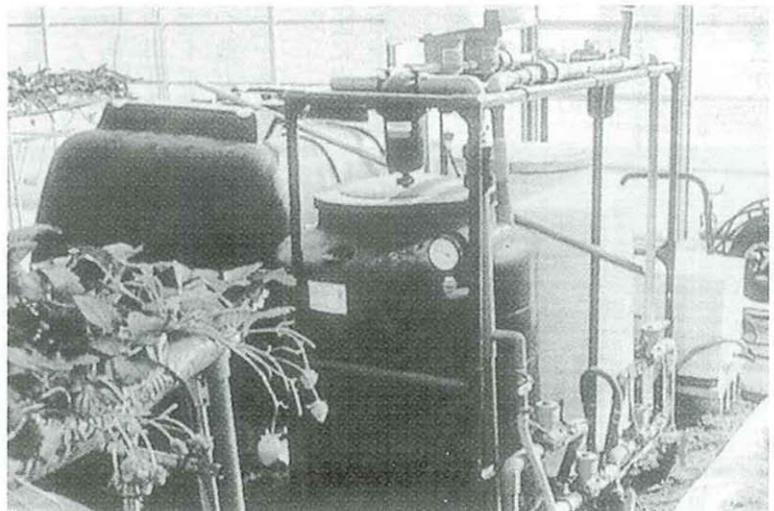
**答** 戸川産業振興課長 施設の有効利用、特産品開発、農業からの雇用、生産販売、人づくりが一つにまとまり、これからの勝浦農業にとって、必要な考えだと思ふ。

**答** 国清総務課長 公務員の人材教育として、多様な価値観をもち、民間経営感覚やコスト意識をもつこと

は意義あることだ。広域的研修の場としては適当な位置と思う。

**答** 川口町長

新しい型の農業、研修利用、雇用対策等よい考えだと思ふ。高額の費用をかけるべきでないとのことであるが、他産地に勝てる物にするには近代的設備にしろなくてもよい心配である。



養液供給設備

### 忠魂碑の移転を考えては

山田昌男 議員



**答** 滝花企画財政課長 移転については、現時点では公費負担は難しいと考えている。

**答** 川口町長 国の動向などを見ながら、今後、検討していく必要がある。



### イベント・観光と

### 農業振興

**問** ビックひな祭り、あゆ祭り、みかん祭りなど多彩なイベントが定着してきた。また、勝浦座の人形浄瑠璃などもある。勝浦町の水と緑と自然を生かし、イベントや観光と農業振興を結びつけ

る。

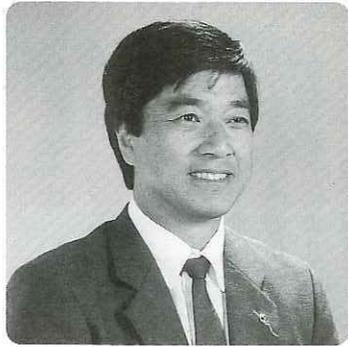
### 宿泊施設の

### 建設について

**問** 近畿かつうらふるさと会からの希望として「宿泊施設があれば…」という声があったが、どう考えているのか。また、上勝町と合併について話し合ったことはあるか。

る。

**問** 行政改革調査会の答申では、勝浦病院の「民間委託や廃止」という選択肢も記述している。どう受け止めているか。病院運営を困難



井出幸夫議員

## 病院運営を困難にしている要因は

### 医療保険制度の改悪だ

(河野参事兼病院事務局長)

**問** 庁舎敷地内の忠魂碑は適当ではない、移転してはどうか。政教分離の原則があり、用地確保ができて問題点が多く障害となっていないというが。

**答** 岡本住民課長 政教分離の問題があり、また、用地ができたとしても遺族会との相談が必要である。



移転の声もある忠魂碑

にしている主な要因は。国は地方の病院を切り捨てようとしているのでは。

**答** 川口町長 町民の医療の拠点として、何とか存続させていきたい。

**答** 河野参事兼病院事務局長 厳しい答申だ。医療保険制度の改悪が病院経営を困難にしている。

### 保健事業の推進を

**問** 病院とタイアップしながらの保健事業の推進を。

**答** 河野参事兼病院事務局長 勝浦病院では、人間ドック五十人の受入れや、愛育班の総合検診を受けられなかった人の検診も考えている。

### 介護保険料の滞納者の扱いは

**問** 介護保険においては、四十歳から六十四歳までの二号被保険者の保険料は、国保税とセットで徴収される。滞納者の扱いはどうなるのか。

**答** 倉橋税務課長 「特別の事情のある者を除き、保険証の返還を行う」という厳しいものとなってくる。

**問** 低所得者の保険料や利用料の減免制度について、前向きに検討しているのか。

た取り組みを模索する必要があるのではないか。

**答** 戸川産業振興課長 イベントや観光など二十万人以上の人が勝浦町を訪れていると思われる。イベントや観光を活用した農業振興によって地域の活性化を図っていききたい。

**答** 川口町長 財政状況を見ながら、検討していきたい。

### 介護手当の増額を

**問** 在宅での介護は、家族の負担が大きい。介護

**答** 川口町長 宿泊施設については、年間を通しての活用と維持管理の問題もあり、今は検討の段階である。合併について話し合ったことはない。

保険を補うものとして、介護手当の増額をすべきでないか。

**答** 川口町長 今後、対応を考えていきたい。



愛育班の総合検診

# 古代のロマンをもとめて



化石研究会々長

節 長 吉

— 活動内容は。

平成六年、立川地区での恐竜イグアノドンの歯の化石発見以来、有志十数名により研究会を結成し、年二回、現地における発掘研究を続けています。

地質館の建設や、京都大学等による研究所の誘致、実習地の確保ができればと思っています。

— 議会だよりの感想は。

議会の内容や、各議員の活動状況がよく分かり、町民とのパブリック的役割として大いに役立っています。

— 議会や町に対しての要望は。

不況の中、明るいニュースは聞かれませんが、町民の雇用の場の確保や、観光開発などに一生懸命取り組んでいただきたいと思えます。



化石研究会の皆さん



## 議会のうごき

### 5 月

- 6日 議会広報調査特別委員会
- 8日 議会広報調査特別委員会
- 12日 議会運営委員会、全員協議会  
産業建設常任委員会
- 16日 近畿かつうらふるさと会総会
- 20日 土地開発公社理事会
- 21日 厚生常任委員会
- 25日 専門学校評議員会
- 26~28日 勝名地区正副議長県外視察研修  
(福井県)

### 6 月

- 3日 6月定例議会開会、全員協議会
- 5日 関東阿波かつうら会総会
- 7日 6月定例議会、一般質問
- 8日 6月定例議会、議案審議、全員協議会
- 10日 6月定例議会、議案審議、全員協議会  
閉会
- 27日 町議会議員一般選挙
- 30日 町村議会議長会臨時総会

### 7 月

- 2日 改選議員懇談会
- 7日 全員協議会
- 12・13日 第3回臨時議会、全員協議会
- 19日 議会広報調査特別委員会、県道と食・  
勝浦線・鶴林寺線改良促進期成同盟会総会
- 21・22日 新議員研修
- 23日 議会広報調査特別委員会
- 24・25日 あゆまつり
- 26・27日 新議員研修
- 28日 議会広報調査特別委員会  
京都府峰山町議会視察来町
- 29日 全員協議会
- 30日 議会広報調査特別委員会  
岡山県柵原町議会視察来町

### 議会広報編集委員

- 委員長 溝田義昭
- 副委員長 井出幸夫
- 委員 川端雅夫
- 員 国清 健

残暑お見舞申し上げます。  
改選後の委員会構成において私達五人が議会広報の編集を担当することになりました。  
議会だよりの「かつうら」は創刊から二カ年、町民の皆様と議会とを結ぶかけ橋としてその役割を認められつつあります。  
三カ月に一回の発行であり、議会活動の全てをお伝えすることはできませんが、編集委員全員が公平な立場で協議を重ねる中で、できるだけわかりやすい内容に集約していきたいと考えております。  
文才もなく編集技術も未熟な私達ですが、皆様にご満足いただける紙面にするよう一生懸命勉強していきたくと思えます。今後ともご指導、ご助言賜りますようお願い申し上げます。

